

宿泊できる研修・福利厚生施設も完備されています。水族館に棲む魚や熱帯海域の美しい魚が、ところ狭しと泳ぎ回っており、我を忘れて海のロマンに引き込まれます。水族館は無料で開放しており、年間1万数千人の見学者が訪れます。地元小学校児童との稚魚の放流会、親子の海辺教室等を開催して、地元の文化交流を盛んに行ってきました。厚生施設は、学生のクラブ活動、研究室やゼミの研究教育活動、教職員や学生との懇親等に利用されています。研究所へは、毎朝8時30分に大学からスクールバス（無料）を運行しています。



▲附属内海生物資源研究所（マリンバイオセンター）

■1号館（エントランス）

1号館は開学25周年を記念して建設され、平成12年3月に竣工しました。1号館前は記念広場として、中庭は爽風の庭として整備され、学生たちの憩いの場となっています。1号館は大学の中心にあり、学務部事務室（学生課・教務課・就職課・国際交流課）やキャリアセンター、留学生センター、学生ホール、自習室といった施設も設置されています。その中に、売店、学生食堂、喫茶があり、食堂はそれぞれ特色あるメニューをそろえています。瀬戸内海の魚や尾道風ラーメンなど、地元産の材料を使ったメニューも楽しみです。毎日多くの学生たちに利用されているため賑わいをみせています。



▲1号館（外観）



▲1号館（中庭）



▲自習室

■図書館

図書館は本館と分館に配置され、どちらも自由に利用できる開架式閲覧方式で、研究に役立つ統計データや学術書、CD-ROMも多数所蔵しています。また、館内には最新の情報システムを装備しており、例えば、インターネットアクセスによるデータ収集や出版情報、他大学の所蔵情報など新しい情報を広く収集することも可能です。30万冊を超える蔵書と国内外の雑誌4200誌を誇る図書館は、学習、研究に必要な情報を学生や教員に提供するほか、閲覧室、学習室を設備し、学習の場を提供しています。1階のホールでは学生たち主催のお茶会や写真・絵画の展示会が催され、学内芸術作品発表の場としても利用されています。



▲附属図書館（外観）

キャンパス散策（福山大学）



瀬戸内海（松永湾）に臨む三蔵ヶ丘に広がる福山大学の広大なキャンパス。5学部14学科および大学院に約4,000名の学生が在学しています。34万平方メートルの緑豊かなキャンパスには構造・材料開発研究センターをはじめ33棟もの講義棟や研究棟が建ち並び、本格的なサッカー専用芝グラウンド・野球場、そしてテニスコートが整備されています。また、平成16年4月にグリーンサイエンス研究センターが設置されました。グリーンサイエンス研究センターでは研究プロジェクトを大学内の共同研究、産官学の連携等によって実施し、研究成果は福山バイオビジネス交流会等を通じて実用化して、地域産業の振興に貢献しています。さらに、JR福山駅前には社会連携センターが開設される予定です。

最寄りの駅（JR山陽本線松永駅）から本学まで、スクールバス（無料）で約10分。また、キャンパスの北を東西に走る山陽自動車道の福山インターチェンジからは数分の距離です。

本学の教育理念は「教えるとは、共に希望を語ること。学ぶとは誠実を胸に刻むこと」という言葉に言い表されています。時代や社会がいかに変化しようとも、本学の教育の精神には一貫した理念が貫かれています。さまざまな分野の学問を学ぶ中で、追求されるべきものは、知識や技術だけでなく、人間性重視と調和的な全人格陶冶です。この理念は本学の教育指針に熱く込められています。

福山大学のメインストリートは、ケヤキ（欒）と桜の並木道です。春にはケヤキが芽を吹き、追いかけるように桜が満開になります。自然環境に恵まれたキャンパスは心も和み、学生たちの元気の良い挨拶が飛び交います。



▲メインストリート



▲桜の並木道

■内海生物資源研究所（マリンバイオセンター）

当研究所は平成元年3月に瀬戸内海に生息する魚類等の海洋生物の生態および生化学的機能に関する基礎研究と、それらの増養殖と利用についての応用研究を行い、栽培漁業の発展に寄与することを目的に因島の大浜海岸埋立地に設立されました。主に瀬戸内海に生息する魚類を中心に海洋生物の生態や増養殖・利用についての応用研究を行い、栽培漁業の発展に寄与することを目的としています。研究所には水族館や、クラブ活動等に50名が



▲学生コンペ表彰式の模様(学生ホール)



◀サッカー場



▲キッズサッカーフェスティバルの模様



▲大学会館(外観)



▲大学会館ホール(教養講座)



◀カフェテリア

■学生コンペ

学生による大学施設活性化プロジェクトの一つとして「学生ホール活性化のためのデザインコンペ」を実施しました。学生からの要望のあった1号館学生ホールを活性化するための提案を学生たちに公募しました。学生代表を含めた審査員6名による協議の結果、優秀賞1点、奨励賞2点等が選考されました。学生ホールにおいて、本コンペの表彰式が行われ、入賞者には賞状と奨学金が手渡されました。

今後、学生から提案のあったアイデアを参考にして、学生ホールを改装する予定です。

■サッカー場

最新の人工芝を全面に敷き詰めた本格的なサッカー専用グラウンドは、全国大会でも活躍しているサッカー部の練習場として利用される一方、地域のサッカー交流にも利用されています。毎年開催されている、三蔵祭(10月下旬)では、キッズサッカーフェスティバルが行われ、小学生の低学年を対象におよそ150名の子供たちが参加しています。地域の方々には子供から大人までスポーツを楽しんでもらうことのできる場所を提供しています。

■大学会館

1,508名収容の本格的な音響設備をもつ大ホールや、大小の研修室が設備されています。入学式、卒業式、教養講座、交通安全講習会、吹奏楽部による定期演奏会等も毎年、大学会館で開催されます。教養講座では、講師として学外から各界の活躍されている著名人を招聘するほかに、本学教員もその専門分野から本講座の目的に即した講座を担当しています。また、1階には保健管理室やカフェテリアがあり、学生たちに利用されています。保健管理室では、ケガや体調不良の応急処置、健康相談、悩みやこころの相談に、専門医、カウンセラー、看護師が応じています。また、カフェテリアは季節に合わせて工夫されたメニューが豊富で、学生たちは、授業の合間のひとときを食事やお茶でゆっくと楽しんでいます。